

◎創世記15章を振り返りましょう

◎創世記16章1-6を読みましょう

1. 主の約束が実現しないアブラムとサライにとって、「待つ」とはどんな意味がありますか。
2. そこでサライはどんな方法を考えましたか。その理由は何が原因だと言っていますか。
3. サライの提案を聞いて、アブラムはどのように受けとめましたか。なぜですか。
4. ハガイが身ごもった後、サライとハガイとアブラムの関係はどうなりましたか。私たちは、自分の立場（身分）や状況が変わることによって、どんな弱さや誘惑がありますか。

◎創世記16：7-14を読みましょう。

5. 「主の使い」「荒野の泉」「シュルへの道にある泉」からどんな場面を思い出しますか。
6. 「サライの女奴隷ハガル。…どこから来て、どこへ行くのか。」から何がわかりますか。
7. 主の使いはなぜハガルに女主人サライのもとへ帰るように言われたのですか。
8. 主の使いはハガルにどんな約束をされましたか。それは彼女がどんな状況の時ですか。
9. 「イシュマエル」（神は聞く）、「エル・ロイ」（私を見てくださる神）、「ベエル（井戸）・ラハイ（生きておられる方）・ロイ（ご覧になる）」それらはいずれも何を表していますか。

◎創世記16：15-16を読みましょう。

10. 「アブラムは、…男の子をイシュマエルと名づけた。」とは何を表していますか。
11. 「…アブラムは八十六歳であった。」とは、どのようなことを表していますか。
12. 神はどのようなお方ですか（詩篇139：1～を参照）。

* 最後に、創世記16章のタイトル（主題）を一緒に考えましょう

「
」